

# 特集・地域で見守る部活動

中学生のスポーツ・文化活動の地域移行に向けて

岡学校教育課  
TEL 43・1111（内線1412）



令和4年、スポーツ庁と文化庁は公立中学校における休日の部活動の今後のあり方に関して、ガイドラインを全面的に改定しました。「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと、地域の持続可能で多様な環境づくりを推進しています。これまで主に教員が指導していた部活動において、地域のスポーツクラブや民間企業などの様々な団体が、協力して運営するスポーツ・文化活動への移行に向けて取り組みを進めています。

石岡市では、国から委託を受けたモデル事業として、休日の部活動を地域へ移行する実証事業「石岡市中学生休日のスポーツ・文化活動（剣道の部・陸上競技の部・吹奏楽の部）」を行いました。本特集では、その活動実績をご紹介します。

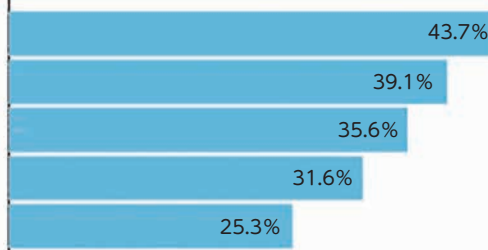
## 市在住の中学1～3年生に聞きました！

Q：どんなスポーツ・文化活動なら、より満足できるものになると思いますか？  
(3つまで回答可)



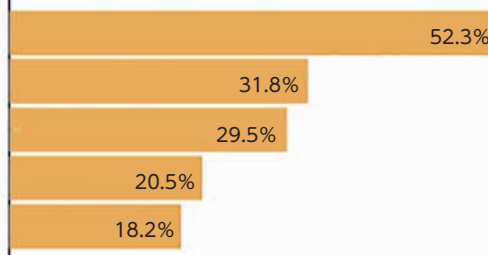
### 運動部

専門的で丁寧な指導が受けられる  
より勝利を目指す活動にする  
他校の友達ができる  
やりたい種目が選択できる  
健康状態を配慮しながら指導してもらえる



### 文化部

やりたい種目が選択できる  
専門的で丁寧な指導が受けられる  
健康状態を配慮しながら指導してもらえる  
より勝利を目指す活動にする  
活動内容などを生徒同士で決められる



### 【結果まとめ】

より良い活動のためには「健康への配慮・専門的指導・やりたい種目ができる」ことが求められています。



地域全体で「楽しめる・選択肢のある」スポーツ・文化活動を創っていく必要があります！

出典：イマチャレアンケート抜粋（2023年10月実施）【イマチャレ製作委員会】



## 剣道の部

活動日：12月9・17日・1月13・28日・  
2月10・25日（計6回）

参加者：22人

活動場所：石岡運動公園・八郷総合運動公園

## 陸上競技の部

活動日：12月9・16日・1月13・28日・  
2月10・25日（計6回）

※12月16日は雨天のため中止

参加者：51人

活動場所：石岡中学校



## 吹奏楽の部

活動日：1月7・28日・2月3・10・25日・  
3月2日（計6回）

参加者：32人

活動場所：中央公民館

吹奏楽の部は、活動の特性を考慮し、取り組んだ成果を関係者へ発表する「おとのわプラスフェスタ in 石岡」を活動の最終日である3月2日に、中央公民館にて開催しました。コンサート当日は、実際に観客の前で、ハウルの動く城やロマネスク、アフリカンシンフォニーなどの曲目を披露しました。







吹奏楽の部の指導にご協力いただいた7人の講師の皆さん。写真左から坂口大介さん（サクソフォーン）、今井斐さん（トランペット）、矢城純平さん（パーカッション）、鴫田英之さん（全体指揮）、鈴木菜月さん（フルート）、鎌田裕子さん（ユーフォニアム）、谷本麻実さん（パーカッション）。

## 活動に参加した子どもたちに聞いてみた！



学校の部活動に所属する部員が少ないため、他中学のたくさんの人たちと一緒に練習をして合奏できるという機会は初めてでした。とても良い経験になりました。

今回の活動を通して、学校も担当する楽器も違う子たちと「吹奏楽」というきっかけを通して仲良くなることができました。来年度もこのような活動があれば、ぜひ参加したいです。



普段の部活動で行っている練習とは違い、専門的な技術を講師の先生から教えてもらうことができました。今回の活動を通して学んだことを、今後の練習に活かしていきたいです。



鴫田英之さん

茨城おとのわプロジェクトは、身近な場所で生の音楽に触れることができるコンサートやワークショップなどの音楽活動を茨城県内で行う団体です。石岡市内で行われる観光施設でのコンサートやイベントに関するチラシを小中学校に配布してほしいと、教育委員会へお願いしていたことがきっかけで、今回講師のお話をいただきました。子どもたちに地域での活躍の場をつくるという目的にとっても共感し、県内で活躍する演者7人で講師として子どもたちを指導させていただきました。

## 石岡市剣道連盟

剣道の部の指導にご協力いただいた9人の講師の皆さんのうち、お二人からお話を伺いました。



柘植朗良さん

部活動を地域へ移行する際に課題となるのは、指導者の確保ではないでしょうか。石岡市剣道連盟には、時間に余裕があり、専門性の高い指導者として活躍できる人材がたくさんいます。石岡地区と八郷地区の練習のバランスを考えながら、子どもたちのニーズに応じた活動を目指します。



本江義明さん

剣道は、師（先生や指導者）と弟子（学生や教えを受けるもの）は共に学び合い、共に成長するという意味の「師弟同行」を重んじます。子どもたちへの指導から学ぶことも多く、自分が今まで以上により成長していることを実感しています。今回の活動から、自身の人としての成長に終わりはないことに改めて気づきました。礼節を重んじる剣道において、子どもたちには知識や技術の習得だけではなく、礼儀や挨拶といった人としてのあり方も大切にしていきたいと思っています。剣道に限らず、相手を思いやる心は生活全てに通じるものがあるからです。今後も指導者として、子どもたちと一緒に成長していきたいです。

## 石岡陸上競技協会・日本スポーツ協会陸上競技コーチ

陸上競技の部の指導にご協力いただいた3人の講師の皆さんのうち、お一人からお話を伺いました。



岡城治さん

指導者としての資格を取得し、県の人材バンクに登録を行っていたところ、講師としてのお話をいただきました。前職場が石岡だったということもあり、ご縁を感じ講師を引き受けました。学生時代、陸上競技に携わっていた経験から、子どもたちへ指導する際には、自身の体験を交えたアドバイスを分かりやすく、具体的にできるように心掛けていました。